



第 14 回 北区招待少年サッカー大会 2015

【審判打ち合わせカード】

サッカー競技規則 2014/2015 により行う。

I 審判員の試合直前の準備

審判員は試合開始時刻の 30 分前までに会場に到着し次の準備を行う。

a 競技会規定の確認をする。

- ① 競技時間 →40 分 (20-5-20)、延長戦はなし
- ② 同点の際の処置 →勝ち点⇒得失点差⇒総得点⇒対戦結果⇒PK戦
- ③ 登録選手及び交代人数 →出場選手数 (選手登録・メンバー表なし)、交代人数に制限はない
- ④ ユニフォーム →レフェリー(黒)と、両チームの色彩がFP、GKともに明確であること
- ⑤ ベンチ入りできる人数 →スタッフ3名までと選手 (色の異なったビブス等を着用すること)
- ⑥ 交代選手がウォームアップする場所 →ベンチの後ろ、ハーフタイム時、

b 競技場および用具の点検

主審、副審および第4の審判員がそろって点検に当たるのが望ましいが省略。

副審はゴールネットの確認と選手チェック (ユニフォーム・靴・すね当て・爪・装飾品) を行う。

- ① ゴールおよびネット
- ② ゴールライン
- ③ 各エリアおよびマーク
- ④ コーナーフラッグ
- ⑤ ベンチの位置およびテクニカルエリア
- ⑥ 使用予定のボール

左記については、主催者側が確認
(北区サッカー協会少年少女委員会
団体協力者)

II 主審、副審及び第4の審判員の打ち合わせ事項 (以下の項目は短時間で行って下さい)

担当する審判員で確認

- ① 主審の時計に時刻を合わせる。
- ② 主審の採用する対角線と副審の受け持つサイドを決める。
- ③ 前半、後半の終了時の合図の仕方。
- ④ スローインの監視の分担。主審が手、副審が足を見る。
- ⑤ 副審サイドでの反則に対する合図の仕方。
- ⑥ ペナルティーエリア内の反則に対する合図の仕方。
- ⑦ ゴールインのときの合図の仕方。
- ⑧ きわどいゴールインの合図の仕方。
- ⑨ ゴール前フリーキックの時の副審の取る位置と主審の合図の仕方。
- ⑩ ペナルティーキックのときの位置と役割分担。
- ⑪ オフサイドの判定と主審がそれを採用しないときの主審の合図の仕方。
- ⑫ 重大事件発生時の副審、第4の審判員の対応の仕方。
- ⑬ 重傷事故発生時の対応の仕方と各役割の分担。
- ⑭ 交代選手の手続きと用具の点検。
- ⑮ ロスタイム表示と主審のロスタイムの指示の仕方。
- ⑯ ベンチ入りしている役員、選手のコントロール。
- ⑰ 試合の記録：副審、第4の審判員も得点、警告、退場を記録する。

以上のほか、入場方法についても当日確認して下さい。

・コイントスは、フィールド内にて行って下さい。

III 大会競技規則は実施要綱による。